

研究室だより

平成十四年度は学科長山本博也、教務委員吉成薫が担当して学科運営にあたっている。

(1) 平成十四年度 日本文化史学科専門科目および担当者

(※は本年度開講せず、*は非常勤講師)

歴史・考古

歴史学概論 教授 山本博也、教授 吉成 薫

*日本史通論

史料解説 教授 山本博也

古文書学 講師 山家浩樹*

古文書解説 講師・博(文) 久保貴子*

文献講読B〔近代女性史文献講読〕 教授 掛川典子

文献講読D〔日本近現代史料解説〕 講師・博(文) 千葉 功

日本古代史 講師 中村順昭*

日本中世史 教授 山本博也

日本近世史 講師 太田尚宏*

日本近現代史 講師・博(文) 千葉 功

日本近代史特論〔日本近現代史特論〕 講師 奥 武則

日本映像文化史 講師 野島孝*

ジェンダー論 教授 掛川典子*

日本女性史 講師 児島恭子

比較女性史論 教授 掛川典子

日本思想史 講師 米井輝生*

有職故実 講師・博(文) 久保貴子*

*日本科学史 教授・理博 大沢眞澄

日本食物史

世界史通論 講師・Ph.D.* 佐久間弘展

文献講読C〔ヒエログリフ入門〕 教授 吉成 薫

古代エジプト史 教授 吉成 薫

古代オリエント文化史 教授 吉成 薫

西洋中・近世文化史〔西洋中・近世史〕 講師・Ph.D.* 佐久間弘展

東洋史概説 助教授 田熊信之

東シナ海文化交流史 助教授 菊池誠

東西美術交渉史〔シルクロードの東西交流〕 講師・文博 相馬 隆*

考古学概論 教授 吉成 薫、助教授 小泉玲子

考古学基礎 助教授 小泉玲子

考古学実習 助教授 小泉玲子、助教授 菊池誠、

講師 御堂島正*

*日本考古学

日本考古学特論A―縄文― 教授・博(文) 山本暉久

日本考古学特論B―弥生・古墳― 助教授 小泉玲子

*日本考古学特論C―歴史―

講師 児島恭子

縄文文化論 教授・博(文) 山本暉久
 * アジア考古学
 考古学特論B〔アジア考古学特論A―東南アジア―〕
 助教授 菊池誠一
 * 考古学特論A〔アジア考古学特論B―西アジア―〕
 教授 吉成 薫
 * 考古科学概論 教授・理博 大沢眞澄
 日本文化史概論 教授 関口静雄
 日本美術史概説 助教授 内田啓一
 美術史基礎〔日本美術史基礎〕 助教授 内田啓一
 日本美術史特論A―江戸絵画― 助教授 内田啓一
 * 日本美術史特論B―鎌倉美術― 助教授 内田啓一
 工芸史 特任教授 岡本光民
 東アジア美術論 講師 川瀬由照
 * 東洋美術史概説 助教授 内田啓一
 * 西洋美術史基礎 教授 木下 亮
 西洋美術史概論 教授 木下 亮
 西洋美術史特論〔スペイン美術〕 教授 木下 亮
 キリスト教文化史 教授 掛川典子
 現代美術論 講師 瀬尾典昭
 * 日本建築史 教授・工博 平井 聖
 ヨーロッパ建築史 助教授・工博 堀内正昭

日欧建築交渉史 助教授・工博 堀内正昭
 日本芸能史 助教授 大谷津早苗
 日本芸能史基礎―調査法― 助教授 大谷津早苗
 日本芸能史特論 助教授 大谷津早苗
 * 演劇文化論 助教授 大谷津早苗
 日本服飾史 助教授 安蔵裕子
 服飾史特論 講師 神埜正子
 服飾史資料論 講師 神埜正子
 染織工芸論 教授・工博 小原奈津子、助教授 谷井淑子
 助教授 安蔵裕子、講師 下村久美子
 文献講読A〔仏教文献講読基礎〕 教授 関口静雄
 仏教文化史 教授 関口静雄
 禅と日本文化 助教授 田熊信之
 茶道史・茶道演習 講師 小堀正晴、講師 戸川晴代
 日本生活文化史概論 助教授 大谷津早苗
 民俗学概論 教授 渡辺伸夫
 民俗学調査法 助教授 大谷津早苗
 * 民俗学特論A―民俗資料論― 教授 渡辺伸夫
 民俗学特論B―民俗と民具― 講師 小川 浩
 人文地理学概論 教授・博(文) 田畑久夫
 自然地理学概論 講師・文博 大山正雄
 地域調査法 教授・博(文) 田畑久夫

人文地理学特論〔地理学特論A〕 教授 井内 昇
 地理学特論B 教授・博(文) 田畑久夫
 地誌通論 教授・博(文) 田畑久夫
 地誌通論A―日本地誌―
 地誌通論B―世界地誌―
 地域文化論 教授・博(文) 田畑久夫
 文化人類学概論 教授・文博 スチュアートヘンリ
 文化人類学特論―現代の世界― 教授・文博 スチュアートヘンリ
 北アジア文化特論
 コリア文化特論
 民族誌
 文化論 教授・文博 スチュアートヘンリ
 歴史文化論A・B 教授 山本博也、教授 掛川典子
 宗教学概論 講師 米井輝圭
 倫理学概論 教授 掛川典子
 社会学概論 助教授 西脇和彦
 法学概論(国際法を含む) 講師・博(法) 高佐智美*
 地理・歴史教育法 教授・博(文) 田畑久夫
 文化財概論 教授・理博 大沢眞澄、
 教授 増田勝彦、教授 武田昭子
 文化財学概論 教授 増田勝彦

文化財の科学 教授・理博 大沢眞澄
 文化財科学基礎 教授・理博 大沢眞澄
 文化財保存学 教授・理博 大沢眞澄、教授 増田勝彦
 文化財保存修復学基礎 教授 武田昭子
 文化財保存修復学 教授 増田勝彦、教授 武田昭子
 文化財保存修復学実習 教授 増田勝彦、教授 武田昭子
 文化財科学A(微生物学) 教授・農博 飯野久和
 文化財科学B(繊維材料学) 教授・工博 小原奈津子
 文化財科学C(建築材料学) 助教授・博(農) 中山栄子
 文化財科学D(環境学) 教授・工博 佐野武仁
 文化財科学E(染色工芸) 教授・工博 小ノ澤治子
 博物館学A―博物館学概論― 講師 石井則孝*
 博物館学B―博物館資料論― 教授 増田勝彦
 博物館学C―博物館経営論・情報論― 講師 石井則孝*
 教育学概論 講師 松本 淳
 生涯学習概論 講師 松本 淳
 視聴覚教育メディア論 講師 大明 敦*
 博物館実習Ⅰ 特任教授 岡本光民、教授 武田昭子
 博物館実習Ⅱ 助教授 小泉玲子、助教授 安蔵裕子
 博物館実習Ⅲ 特任教授 岡本光民、助教授 安蔵裕子
 館務実習
 博物館実習―模写― 講師 板倉公明*

博物館実習—測量— 講師 藤沼俊行*

博物館実習—製図— 教授・博(工) 友田博通

設計・製図(基礎) 助教授・博(工) 金尾 朗

ポストン・ミュージアムプログラム 文化史学科教員

日本史演習A〔日本古代史演習〕 講師 中村順昭*

日本史演習B〔日本中世史演習〕 教授 山本博也

日本史演習C〔日本近世史演習〕 講師 太田尚宏*

日本史演習D〔日本近現代史演習〕 講師・博(文) 千葉 功

日本女性史演習 講師 児島恭子*

比較女性史論演習 教授 掛川典子

オリエント史演習 教授 吉成 薫

東アジア文化史演習 助教授 田熊信之

日本考古学演習A 教授・博(文) 山本暉久

日本考古学演習B 助教授 小泉玲子

東南アジア文化史演習〔アジア考古学演習〕 助教授 菊池誠

日本美術史演習 助教授 内田啓

西洋美術史演習 教授 木下 亮

日本建築史演習 教授・工博 平井 聖

日本芸能史演習 助教授 大谷津早苗

服飾文化史演習 助教授 安蔵裕子

仏教文化史演習 教授 関口静雄

民俗学演習 教授 渡辺伸夫

地域文化演習 教授・博(文) 田畑久夫

文化人類学演習 教授・文博 スチュアート・ヘンリ

文化財科学演習 教授・理博 大沢眞澄

文化財保存学演習 教授 増田勝彦

文化財保存修復学演習 教授 武田昭子

歴史文化演習A 教授 山本博也

歴史文化演習B 講師・博(文) 千葉 功

歴史文化演習C 教授 掛川典子

歴史文化演習D 助教授 内田啓

歴史文化演習E 教授 木下 亮

歴史文化演習F 助教授 大谷津早苗

歴史文化演習G 教授 渡辺伸夫

歴史文化演習H 助教授 安蔵裕子

歴史文化演習I 教授 関口静雄

歴史文化演習J 助教授 小泉玲子

歴史文化演習K 教授・理博 大沢眞澄

歴史文化演習L 教授 武田昭子

歴史文化演習M 教授・博(文) 田畑久夫

歴史文化演習N 教授・文博 スチュアート・ヘンリ

歴史文化演習O 助教授 菊池誠

歴史文化演習P 教授 吉成 薫

歴史文化演習Q 教授 増田勝彦

歴史文化演習R 教授・博(文) 山本暉久

(2) 平成十三年度 日本文化史学科卒業論文題目一覧

題 目 氏 名 指導教員

○柳之御所出土漆塗り白磁四耳壺
浅野悠子 (武田昭子)
に関する研究

○有孔鍔付土器の出土状況にお
ける考察
石井寛子 (山本暉久)

○平泉伽羅之御所跡遺跡出土蒔絵
鏡箱漆塗膜片の科学的研究
市村多加江 (武田昭子)

○魔除けの民俗―栃木県を中心
に―
江口美佳 (渡辺伸夫)

○安楽死について―おもにアメ
リカとオランダを中心として―
海老澤佳世 (スチュアートヘンリ)

○歌川国芳の戯画の人氣について
遠藤美希 (内田啓一)

○真岡木綿の歴史と特性
大島美和子 (安藏裕子)

○雙六について―鎌倉江之嶋大
山新板往来雙六―を中心
大山紘子 (内田啓一)

○中世日本人にとつての松―絵卷
物の世界から―
小川貞由美 (山本博也)

○『源氏物語』における女性の服
飾描写について―紫の上と末摘花―
小野田さやか (安藏裕子)

○「民族」の概念―アイルランド
人の歴史学、言語学、宗教的側
面から―
神崎江里子 (スチュアートヘンリ)

○正倉院宝物における日・中文化
交流―金銀平文琴を中心として―
栗原未来 (田熊信之)

○内地と満州における日本人用教
科書の比較考察
小林泰子 (千葉 功)

○古代エジプトの猫
佐藤絢子 (吉成 薫)

○中世武藏国における武士団の存
在形態について
鈴木理子 (山本博也)

○戯曲と役者絵の關係―助六を中
心として―
関 美幸 (内田啓一)

○美人論の変遷―近・現代の女性
觀をめぐる意識と社会構造につ
いて―
高井玲奈 (掛川典子)

○江戸・明治時代の履物
田中理恵 (安藏裕子)

○広告の女性描写に見る装い
―1910年代―1920年代―
棚田三紀子 (安藏裕子)

○娼婦をめぐる比較文化論
土屋有加里 (掛川典子)

○江戸城大奥の服装観―『千代田
之大奥』を中心―
新倉文子 (安藏裕子)

○警視隊―わが国の明治初期にお
ける警察制度との関連―
榎木友美 (千葉 功)

○猫の民俗に関する一考察―養蚕
信仰にみる猫の絵札と猫の民俗
根津知美 (関口静雄)

性をめぐって―

○戦国時代における人質―後北条氏の事例から―

林 沙葉 (山本博也)

○東京裁判と笹川良一―彼は獄中で何をしたのか―

前田美美 (千葉 功)

○レニ・リーフェンシュタール―ヒトラーに利用された女が追求した美学―

松水紗季 (千葉 功)

○奥州平泉における寺院存続の経過と要因―関山中尊寺を中心として―

三浦千佳 (関口静雄)

○日本の建築儀礼―利根川流域を中心として―

柳沢友美 (小川 浩)

○戦争と女性―『主婦之友』から見る女性像―

柳原悠子 (千葉 功)

○不明銅製品の保存修復をとoshiteの資料化

秋山みつこ (武田昭子)

○肥前色絵磁器をめぐる諸問題

安孫子千穂 (菊池誠一)

○歴史本『江戸図屏風』について

伊豆奈々 (内田啓一)

○三国志の人物に見られる「虚」と「実」―曹操を中心として―

市川 彩 (田熊信之)

○豊臣家に仕えた侍女たちの役割

今泉亜由美 (児島恭子)

―孝蔵主を中心として―

○恋文―フェルメールの手紙を描いた風俗画について―

今川久美子 (野村久康)

○服装と共に変化する女性の意識―戦後ファッションを通して―

上野麻衣 (安蔵裕子)

○茨木童子について

江口奈津希 (関口静雄)

○明治維新にみる旧武士の信仰の側面―福島県安積地方の土族授産を通して―

遠藤由紀子 (渡辺伸夫)

○白拍子について―その芸能と遊女的側面―

及川由梨 (児島恭子)

○西欧服飾の中のキモノ表現―19世紀末から20世紀初頭にかけて―

大谷暁子 (安蔵裕子)

○纏足から考える女性美

大淵浩子 (掛川典子)

○海舟とクララ―『クララ日記』に見る勝海舟とクララ・ホイットニー

小野恵里 (千葉 功)

○犠牲者の山羊を魔女に求めた社会―15世紀―17世紀ドイツの魔女狩り―

尾見直子 (佐久間弘展)

○10世紀から12世紀の天皇の乳母について

柏原幸恵 (児島恭子)

- 洋装化にみられる日本的趣向 九万田よしみ (安藏裕子)
 - 江戸期飾り櫛のデザインとその特質―雛形本と浮世絵を中心として― 栗田佳世子 (安藏裕子)
 - 魏志倭人伝からみた日本の弥生時代 越田葉子 (小泉玲子)
 - 徳川幕府の御台所について―和宮を中心として― 小平麻美 (久保貴子)
 - 日本人の装飾観―指輪を中心として― 近野麻美 (安藏裕子)
 - 雪室における変遷についての考察―秋田県・山形県・福島県・新潟県を中心に― 後藤麻衣子 (渡辺伸夫)
 - 文化人類学的見地からの知能検査および知能指数 佐藤那穂子 (スチュアート・ヘンリ)
 - アルジャントウイユ時代のモノエ―モノエが得た光・色彩・モチーフについて― 菅原照江 (野村久康)
 - ジャガー信仰の歴史的変遷 濱崎美香 (吉成 薫)
 - 農耕儀礼と田遊び―稲作儀礼の水口祭りと田遊びの関係について― 古玉恭子 (渡辺伸夫)
 - 江戸期煙管雁首の保存修復処理 本多 恵 (武田昭子)
-
- と考察
 - 「君が代」のあゆみ―明治文明開化から太平洋戦争期まで― 松本あゆみ (千葉 功)
 - 古代ローマ―ポンペイの資料から見る古代ローマの生活― 山北美穂 (吉成 薫)
 - 縄文時代における動物形土製品について―イノシシ形土製品を中心として― 領家玲美 (山本暉久)
 - 平和への考察―日独の戦後処理の比較を通して― 池乗梨詠 (スチュアート・ヘンリ)
 - 小堀遠州の伏見奉行屋敷における柵について 小玉晶子 (平井 聖)
 - ラメセス2世―ガデシユの戦い― 杉山佳代 (野村久康)
 - ガス街灯―当時なぜあまり普及しなかったのか― 林 圭 (平井 聖)
 - 「少女」を志向する社会 曲谷沙織 (児島恭子)
 - 青大句珠に見る「魏志」倭人伝の考察 渡辺瑞希 (田畑久夫)

(3) 平成十三年度 修士論文題目一覧

題 目 氏 名 指導教授

「摘田」地域の歴史的景観の復元

— 埼玉県大宮台地を事例として —

岩瀬直子 (スチュアート ヘンリ)

竹林寺略録について—その構成と機能—

塚本あゆみ (関口静雄)

関東南西部地域における玉作遺跡の出現と展開

— 北陸系土器からみた玉作遺跡 —

館まりこ (スチュアート ヘンリ)

近世の自刻像—木喰行道を中心に—

山本裕子 (山本博也)

(4) 平成十三年度 研修旅行報告

本学科では、周辺の博物館・美術館等々の日帰りの見学・研修とは別に、夏期休暇を中心に各専門分野ごとに専任教員の指導の下にコースを選定し、研修旅行を実施している。平成十三年度の研修旅行は次表の通りであった。

分野	日程	研修地	参加人数	引率者
歴史	9・18 ～ 20	静岡県 伊豆国分寺塔跡、三嶋大社、山中城跡、崖山町立郷土資料館、江川家住宅、蛭ヶ小島、崖山反射炉、堀越御所跡、成福寺、願成就院、北条寺、最明寺、修禪寺、玉泉寺、豆州下田郷土資料館	9名	山本博也
地理	7・27 ～ 30	四国方面 内子、伊予大洲、宇和島、西海周辺(竜串、見残)、足摺岬、上佐中村、四方上川、大歩危、小歩危、祖谷溪、金刀比羅宮	7名	田畑久夫
日本建築史	7・30 ～ 8・3	長野県 懐古園、上田城跡、善光寺、長野県東山魁夷館、松本城、小布施(あかり博物館、北斎館)、須坂(須坂クラシック館、田中家博物館)	9名	平井 聖

また、博物館学芸員資格取得者には次表の研修旅行を実施した。

日程	研修地	参加人数	引率者
9・25、28	三重県、和歌山県 齋宮歴史博物館、伊勢神宮、補陀洛山寺、那智大社、青岸渡寺、速玉大社、佐藤春夫記念館、熊野本宮大社、熊野古道、粉河寺、根来寺、紀三井寺、和歌山城、和歌山県立近代美術館、和歌山県立博物館	54名	渡辺伸夫 武田昭子 内田啓

この他にも、大山正雄講師が会津地方のエクスカージョンを三日の行程で実施した。

(5) 秋桜祭参加報告

平成十三年度「秋桜祭」(十一月十・十一日)に、本学科は考古学研究会(顧問・小泉玲子助教授)が中心となって「古墳時代の馬具」というテーマで参加し、馬具の復元製作工程等を展示し、夏に実施した発掘調査の報告を行なった。また、民俗学研究会(渡辺伸夫教授・大谷津早苗助教担当)では「雪国に残る生活と信仰―秋田県雄勝郡羽後町西馬音内―」というテーマで、今まで行なってきた調査・研究の成果を展示・発表した。「日本建築史演習」(平井聖

教授担当)では「絵草紙からみる幕末の生活」というテーマで、ミニチュア版の台所やかまどを展示し、平井教授の私的コレクションである様々なお弁当箱の研究を通じ、江戸時代の絵草紙の中の風景を考察し、展示した。

(6) 平成十四年度特殊研究講座

本学では、学問の系統ごとに、学外の著名な講師を招いて講演していた「特殊研究講座」を開催している。

平成十四年度の文化史系の特殊研究講座は次の通りである。

小泉和子氏(昭和のくらし博物館館長・京都女子大学教授)

「日本の家具文化」 5月20日(月)

御厨貴氏(政策研究大学院大学教授)

「オーラルヒストリーとは何か」 6月14日(金)

萩原秀三郎氏(東アジア民俗研究家)

萩原法子氏(文化庁文化審議会専門委員)

「宇宙樹にみる『太陽』と弓神事」 6月17日(月)

徳井淑子氏(お茶の水女子大学教授)

「色彩表微の世界―ヨーロッパの色の歴史―」 10月17日(木)

葛野浩昭氏(聖心女子大学助教授)

「サンタクロースの誕生とアメリカ国民の形成」 11月27日(水)